

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県 加西市

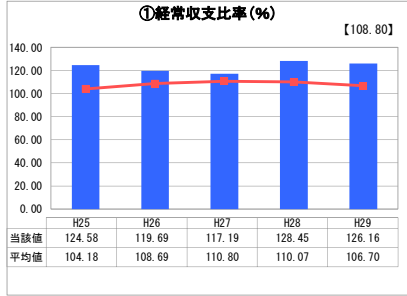
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cd2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20㎡当たり家賃料金(円) |
| - | 69.64 | 25.39 | 91.02 | 3,650 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 44,649 | 150.98 | 295.73 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 11,304 | 4.99 | 2,265.33 |

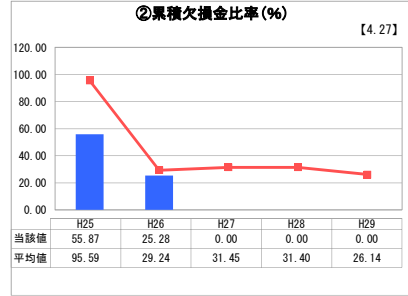
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

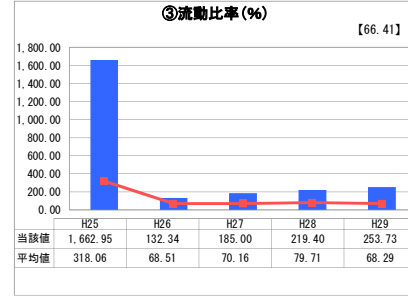
1. 経営の健全性・効率性



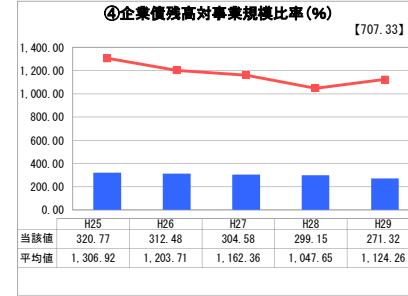
「経常損益」



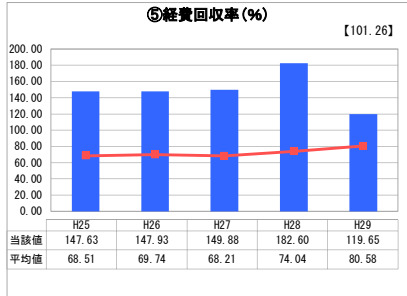
「累積欠損」



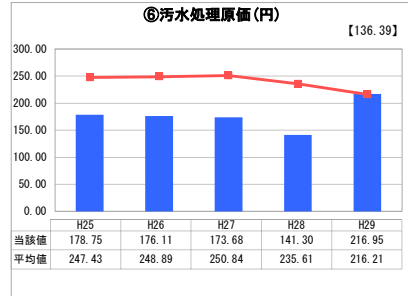
「支払能力」



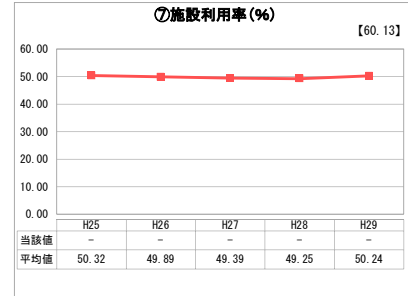
「債務残高」



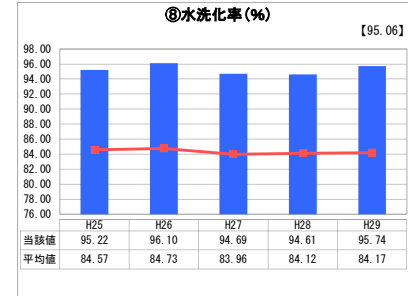
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

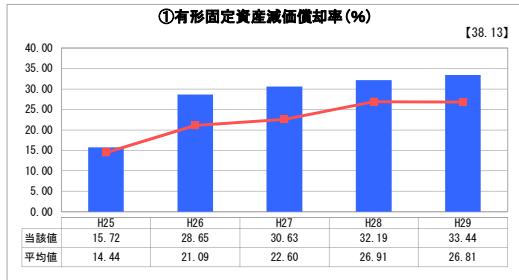


「施設の効率性」

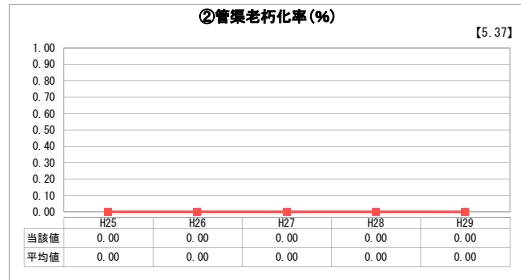


「使用料対象の捕捉」

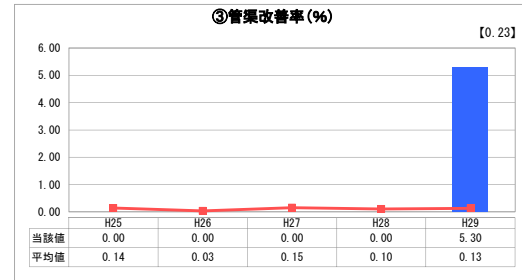
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を上回っており経営状況は悪くありませんが、近年は総収入が減少傾向にあるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

②累積欠損金比率については、平成27年度決算において解消され、以降においても発生しておりません。

③流動比率については地方公営企業会計制度改正の影響により平成26年度に大きく下がりましたが、100%を超えており、良好な状況を保っています。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均を大きく下回っており、適正な数値となっています。

⑤経費回収率は、引き続き100%を超えており使用料で経費を賚えている状況といえます。

⑥汚水処理原価は類似団体平均とほぼ同程度です。

⑦施設利用率については、本市には公共下水道の処理施設がないため比較できません。

⑧水洗化率については、類似団体より高い水準ですが、今後も引き続き水洗化の促進に努め、接続率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体と比べると数値が若干高く、平成28年度末で33.44%となっており、全体の耐用年数は7割弱程度残っていることとなります。

③平成29年度において一部の地域の管渠更生を実施したため、数値が高くなっています。

全体総括

当市の公共下水道事業については、ほとんどの指標において数値も良く、全体的に類似団体と比較しても良い状況となっています。

ただ、市の下水道事業全体としては、農業集落排水事業、コミュニティプラント事業の事業効率が悪く、非常に厳しい経営状況が続いています。

人口減少等による減収が予想される中、各事業ともに引き続き経費の節減と水洗化の促進による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。